

俳苑

●投稿先・秘書広報室 藤久保二〇〇一 ☎(二五八)〇〇一九
※投稿は官製はがきで楷書で二句 漢字には全てルビをふり電話番号を明記
●選者・村上しげお

春雨にけむる西伊豆波しづか	針 田 晃	朧夜や相槌かえす人といて	沼波そめ子
上洲路灯る庭先濃山吹	石川靖子	にしん干す竿に下がりし母の味	中西靖子
散髪や鏡に映える万年青かな	星野 一郎	麦の秋風が指揮する黄金波	吉岡 伴明
ペランダに小枝啜えて鳩止まる	野尻光之	風に舞う夏帽子追う子等の声	志村美代子
窓辺にて春の風を憂ふ朝	砂田 幸子	山葵咲く穂高を望む水辺かな	海老根紫西
大鷹や気流に乗って春の舞い	村瀬 鏡三	行く季節惜しみて残花眩しけれ	西方 和子
春雲や画布の上にも影落し	田中正三	祖母と見たほろずきの花白き咲く	萩原 雅夫
響鏢と青麦のごと歩く輩	小林 紀子	鬼灯を鳴らすお婆の笑くぼ哉	佐々木 年郎
喧騒のビルの谷間に臙月	桑田 晃治	牡丹の花の三日に風荒らぶ	沢田 哲子

歌壇

●投稿先・町田勝男 上富四一五〇一 ☎(二五八)二五三〇
※投稿は官製はがきに一首、電話番号明記。
また、添削することもあります。

食卓にほのかに香る梅いちりん家族の団らん一人入りき
はや五年いや未だ五年よぎりゆくかの日の揺れは忘れざるもの
大いなる桜の古木はこぶと天に昇れる龍とまがふも
現代の姥捨山か老い人を六階より放る介護士は鬼か
亡き夫の好物なれば親子して揚げ物コーナーを今も避けをり
散るさくら両掌に受けて吹いてみる舞ひ舞ふ見れば春はうれしき
やせ狐伊吹の山小屋窓ちかくわれに餌を乞ふ生きるはきびし
エキナカに月見そば噺り武蔵小杉の駅前摩天楼に歌会の友待つ
師は言へり路傍の草の美しさ感ずる人になつてほしいと
吾娘呼ぶに「佳子・佳子」とわが名言ふ認知すすみし兄思ひ遺る

高 山 正 彦	大 野 眺	森 下 茂	魚 津 太	村 上 美 奈 子	本 橋 俊 子	石 井 敏 男	町 田 勝 男	山 口 み さ 子	祖 父 江 桂 子
---------	-------	-------	-------	-----------	---------	---------	---------	-----------	-----------

日本手話で広げよう心の輪

新しい言語「手話」はじめませんか?

カツムリ

今月覚えてほしい日本手話は「かたつむり」「雨止む」「ブーム」「仕事」です。出演は高波美鈴さんと古屋さん親子。6月は父の日。親子の絆を手話でご紹介します。



YouTube <http://goo.gl/eEHkAv>
— ARはこの下をかざすとはじまります —



今月の出演
古屋 孝志 さん(左)
古屋 隆成 くん(右)

おたよりだより

広報みよしに寄せられた声をお届け!



FROM READERS

■広報みよしが全国広報コンクールの「広報紙」「広報企画」の二部門で入選をいたしました。お祝いのおたよりをたくさんいただきましたので、ご紹介いたします。

◆入選おめでとうございませう。広報は写真もとても素敵で毎月楽しみにしています。新聞を見ていたら記事が載っていたので、思わずおたよりしてしまいました。ますます三芳町が大好きになりました。ありがとうございました！(Aさん)

◆すごいと思います。これからも素晴らしい紙面で受賞するのをたのしみしています。(一さん)

😊 たくさんのお祝いのおかげで、ありがとうございます。僕も聞いたときは嬉しくて、思わず大きな声でのぞみちゃんのことを呼んじゃったよ。今回の受賞は、広報紙部門は4年連続、

「広報企画」部門は初めての受賞だったんだって！
◆ そうなの！みらいくんが大きな声を出すからびつくりしちゃったよ。広報担当者も、「広報企画」部門は初めての入選でうれしくて言っちゃったよ。少しずつ色々な人に、三芳町を知ってもらえるきっかけになるといいよね

◆ 5月号で特集した「食べて歩いて健康長寿」へのおたより
◆ 表紙のお野菜が新鮮そうで、とても良かったです。三芳町を象徴するお野菜だと感じました！(Yさん)

◆ 三芳町が、県内でも長生きさんが多い町だと聞いて、何だか誇りに思えました。(Kさん)

◆ 「食べて歩いて健康長寿」が、三芳の取り組みとして根付いてきたような印象がありました。(ペンネーム・イヴさん)

😊 おなががほっこりしてきた気がして…。がんばって歩こうと思ってるよ。しかも今年は、みよし野菜を使ったお弁当も作るらしいから、今から楽しみだね！早く食べたいなあ。気になる人はぜひ参加してね☆

【編集後記】
◆ 「おめでとうございませう」と三芳町民の皆さん、いつもご協力いただいている皆さんに言いたい。今年の広報コンクールで広報紙部門と広報企画部門の2部門で入選することができました。私は何もしていません。住民の皆さんと協力いただいた皆さんの力でつかった結果です。これからも広報という「ラブレター」が皆さんの心に届きますように。▼オモイデヒカル。三芳を愛する想いで光る「思い出、光る」の二つの意味があるのです。(佐久間)

◆ 今回、人生で初めてインタビューをしました。緊張しながらもお話を聴くのはとても楽しかったです。取材をした方も、深い想いと優しい人柄をお持ちで、こちらが温かい気持ちになりました。自分の知らなかった三芳町の魅力を、また一つ、見つけました。取材を受けてくださった皆さん、ありがとうございました。(津留)

◆ 今月号の特集は「ホテル」です。ホテルと聞き真っ先に思い浮かべたのは、ジブリの映画作品「火垂るの墓」です。暗くて重い作品だが、ホテル舞う場面はいつ見ても庄巻の一言、感動的で仄かな美しい幻想的な光が、何と三芳町でも見られるというのだから、いやあ、三芳に住んでいてよかった！(須崎)

みよし今昔写真館



柳瀬川と土手

昭和44年撮影。右岸には、志木の焼却場と建設中の新座団地が見えます。かつて土手下には水田が広がり、ホテルが飛び交う土手では、竹間沢の人々により「穂多留会」というホテル狩りの宴会が行われていました。現在、水田は工業地帯となり、昔日の面影を留めませんが、竹間沢はたなる育成会の努力により、こぶしの里でホテルの光を見ることが出来ます。

昔の写真を探しています。秘書広報室までご連絡ください。☎258-0019 (代表)

みよしおうちカフェ

Let's cooking!



<材料：17cm×7cmパウンド型 1台分>

薄力粉	80g
ベーキングパウダー	小さじ1
粉チーズ	18g
卵	1個
牛乳	60g
サラダ油	50g
塩・こしょう	少々

季節の野菜など…お好みで粉チーズ(トッピング用)…小さじ1

季節野菜のケーキサレ

- 野菜などは切っておく。
- Aをビニール袋に入れ、よく振り混ぜる。
- ボウルに卵を入れ、泡立て器でほぐし、牛乳、サラダ油、塩・こしょうを加えてよく混ぜる。
- ②を③に加え、グルテンを出さないように菜箸で液体と粉を混ぜる。
- 細かく切った野菜などを④の生地に加え、ゴムべらで7～8回混ぜる。
- 型に半量を流し入れ、大きめの野菜を入れてから残りの生地を流す。
- 飾りの野菜を重ならないように広げ、上から軽く粉チーズを振り、170℃のコンビで27分焼く。(オーブンの場合、180℃で55分焼く。 ※オーブンにより温度・焼き時間は異なる)

レシピ・写真協力: 大東ガス株式会社